

企業の想いが、善意の輪となり 未来を動かす

—草津の福祉、そして地域住民の暮らしを支えている福祉事業所を、
企業の力で応援しませんか—

事業所連携で、地域の善意と福祉現場の声をつなぎ、“活かす”仕組みづくりに踏み出しました。

この取組は、福祉事業所等が必要としている寄付物品のニーズを把握し、企業の皆さまの想いを、必要とする福祉事業所等へ確実に届ける取組です。企業の寄付は、単なる物品提供ではありません。

地域に善意の輪を広げ、福祉の未来を動かす力になります。

CSRとしての社会的価値はもちろん、『**地域とともに未来をつくる企業**』としての存在感を力強く示すことができます。

ぜひ、寄付物品を草津市社会福祉協議会（市社協）までお持ちください。皆様の想いを、市社協が責任をもって福祉事業所等へお届けします。

あなたの想いが、草津の未来を変えます。

寄付物品によるご支援を、心よりお願いいたします。

—募集している寄付物品（新品に限る）—

フェイス
タオル

バス
タオル

ティッシュ

歯
ブラシ

シャンプー
・リンス

洗濯用洗剤

ボディー
ソープ

ハンド
ソープ

クレヨン
・クーピー

マスク

トイレット
ペーパー

えんぴつ

ともに
草津の未来を
つくろう



※上記以外の寄付物品は受付していません

事業所の連携で挑む

福祉人材がつながる・育つ
・集まる草津の福祉

深刻な人材～集まらない・続かない～

2040年には高齢者1人を現役世代2.1人で支える社会が到来します。すでに、地域で活躍する“活動者”の担い手不足が叫ばれています。それだけでなく、滋賀県内では保育士の有効求人倍率が5.37倍に、介護関係職種3.28倍（ともに令和7年1月時点）に達するなど、現場はすでに危機的状況です。

なぜ、いま
"事業所連携"が
必要なのか

"15年後、誰が支えるのか"人材不足が生む未来

滋賀県では、15年後に約5,000人の介護職員が必要とされていますが、現状のままでは、介護職員は減少することが見込まれています。

（滋賀県 レイカディア滋賀より）

このままでは、子育て・介護・地域のつながりといった暮らしの基盤が揺らぎ始めている深刻なサインです。事業所は人材を奪い合い、必要な福祉サービスが市民に届かなくなる恐れがあります。

————— 「誰が地域を支えるのか」を共に考える時です。

私たちはともに動き出す
事業所との連携で"未来への種をまく"

地域で活躍する“福祉人材”の育成

若い世代が参加するイベントに協働参加！
福祉の魅力を体験型でPRしていく

福祉の魅力に触れる機会を広げ、若い世代をはじめとする「福祉に関心をもつ人＝福祉人材」を育てていきます。

多くの人が福祉に親しみをもち、「いつか働いてみたい」と思えるきっかけづくりだけでなく、地域での活動は職員が専門性を再確認する機会となり、職員の意欲向上や質の向上にも役立ちます。

善意がめぐる地域へ つながる“支え合い”の仕組みづくり

あなたの“今”の声で、現場を変える！
現場の悩みが、支え合いの輪を広げる原動力に

地域の善意と現場の声をつなげ、“活かす”仕組みづくりを進めています。

事業所の困りごとを共有し合うことで、必要な物品や解決のヒントが見えやすくなり、善意が動き出す仕組みが生まれています。

現在は、事業所の寄付物品ニーズを把握し、寄付者と事業所をつなぐ仕組みも構築中です。

取組窓口 草津市社会福祉協議会 ☎077-562-0084
草津市大路区二丁目1-35 キラリエ草津4階